

Home center

Super market

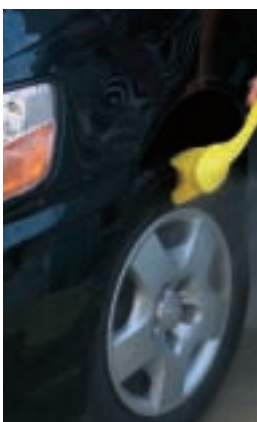
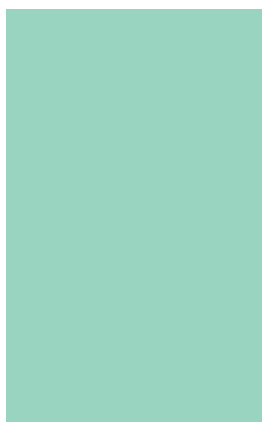
Home needs

House keeping

Enjoy needs

Office supply

Drug store



第 30 期 事業報告書

平成17年2月21日

▼
平成18年2月20日



株式会社 ダイユーエイト

経営理念

●お客様第一主義

お客様の喜び、満足を実現することが、私達の生きがいです。

●地域社会への貢献

地域社会から支持され、信頼されることが私達の存在意義です。

●感謝の精神

すべてが感謝に始まり、感謝に返る、誠実な態度を私達は大切にします。

Contents

- 1 経営理念／株主の皆様へ
- 2 トップインタビュー
- 5 TOPICS
- 7 連結財務ハイライト
- 8 連結グループの概況
- 9 連結財務諸表
- 12 単体財務諸表
- 13 株式の概況／会社の概況
- 14 店舗一覧



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。第30期事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

現在、日本の流通小売業界は、同業他社はもちろん異業態をも巻き込んだ激しい競争の中で大きな過渡期を迎えています。こうした中、当社は、昨年も5店舗を新規出店するなど、積極的に事業の拡大に取り組んでまいりました。

今後も、経営理念である「お客様第一主義」を実践し、より多くの地域のお客様に豊かな暮らしをご提供して、2010年ビジョンである「売上高600億円、店舗数70店舗体制」の実現に向けて全社一丸となって努力してまいる所存でありますので、株主の皆様におかれましては、なにとぞご支援賜わりたくお願い申し上げます。



平成18年5月

代表取締役社長

浅倉 俊一

トップインタビュー

創業31周年を迎え、「お客様ひとりひとりの豊かな暮らしに役立つお店」を目指し、商品政策の再構築と店舗運営の効率化を推進してまいります。

Top Interview

利益改善に注力し、経費削減の結果、営業利益が大幅に増加。
販売単価、買上点数、客単価もそれぞれ大幅に増大。

Q1 当期の概況と第31期の展望をお聞かせください。

A 流通小売業界は大型店、大型商業施設の出店競争が続いております。このような状況のもとで当社は創業30周年を迎え、春・秋と2回に分けて実施しました「創業30周年記念感謝セール」では、多くのお客様にご来店いただき大好評を博すことができました。また、厳冬により暖房用品等の冬季商品が好調に推移し、当期の商品売上高は、連結ベースの既存店売上高は客数が前期比0.2%減少に止まり、点単価は同3.3%増、客単価は3.1%増加したことにより前期比2.8%増加し、全店ベースでの売上高は9.4%と大きく増加することができました。当期末現在の店舗数は合計43店舗となっております。

利益面においては、商品荒利益率は灯油販売の増加により前期比0.2ポイント低下しましたが、経費面において広告宣伝費、賃借料が当初計画を下回ることができ、売上増加要因と合わせて営業利益は前期比73.6%増と大きく増加しました。

不動産事業については、6月にエイトタウン川俣を新設し、不動産収入は前期比6.8%増加しております。

以上の結果、当期の連結ベースの経営成績は、売上高262億5千1百万円（前期比9.4%増）、営業利益は6億5千3百万円（同53.5%増）、経常利益は4億8千4百万円（同113.9%増）、当期純利益は開発負担金収入等があり2億9千1百万円（同139.0%増）となりました。

第31期は、ホームセンター部門で重点出店地域の福島県



へ2店舗（うち1店舗はリプレース）の出店を計画し、さらに6店舗のリニューアルを計画して、品揃えをより一層強化し異業態を含めた競合店対策を講じてまいります。

また、園芸・DIY・作業用品等の主力商品の強化に加え、商品管理面の強化による値下げ額の削減と欠品の減少による販売機会ロスの削減により営業利益の拡大を図ってまいります。さらに、前年度に引続き商品在庫適正化を推進し、キャッシュ・フロー等の経営効率の改善に努めてまいります。

Top Interview

顧客ニーズに合った品揃えで
地域一番店を目指します。

Q2 商品政策の再構築について、具体的にご説明ください。

A 同業他社、ドラッグストア等の異業態との差別化策として、園芸・DIY・作業用品等の主力商品の品揃えの強化策を講じてまいります。特に、園



専任の植物担当を配置

芸用品では昨年より植物専任バイヤー・アシスタントを配置し、店舗では植物担当を配置しましたが、品揃えの拡充、商品管理の強化をより一層徹底し、地域一番店を目指してまいります。

また、社会環境の変化や多様化するニーズへの対応として①熟年マーケット（植物・ペット・介護）②環境対策（省エネ・エコ商品）③安心・安全対策（防災・防犯用品）の新マーケット開拓に社内プロジェクトを立ち上げ取り組んでまいります。

Top Interview

ドミナント化の深耕と
グループのシナジーの追求で集客力拡大。

Q3 当期の出店状況と今後の計画はいかがでしょうか？

A 当期は、山形県に4月に酒田店（酒田市）、5月に山形花桶店（山形市）、9月には庄内余目店（庄内町）と3店舗を順次オープンさせ、山形県下で7店舗となりドミナント化を加速させております。

また、6月には近隣型ショッピングセンター「エイトタウン川俣」（福島県川俣町）を開設するとともに、11月には石川店（福島県石川町）を「メガステージ石川」内にオープンさせました。さらに、7月にはホームセンター原町店のテナントに子会社(株)エイトフーズが運営する食品スーパー「鮮一原町店」をオープンし、ホームセンターとのシ

ナジー効果で集客力を高め、複合店舗による小商圏フォーマットの確立を推進しました。

今後の出店については、福島県下での更なるドミナント・エリアの深耕と第2の商勢圏と位置づける山形県への出店を進めてまいります。さらに、2007年春には栃木県への初出店となる那須塩原店（エイトタウン那須塩原）を計画し、福島県に隣接した出店エリアの拡大を進めてまいります。

また、都市部周辺の狭商圏（人口15,000～20,000人）に、売場面積300～500坪型の小型店の開発を進め、都市部の旗艦店舗を補完する形で市場シェアを高めるべく、用地開発を加速してまいります。



石川店



鮮一原町店

■当社の商圏別出店形態

	(1) 小商圏対応型	(2) 中商圏対応型	(3) 大商圏対応型
売場面積	300～500坪	1,000坪	2,000～3,000坪
商圏人口	1～2万人	3～5万人	10万人以上
コンセプト	コンビニ型 (利便性)	生活ストア	プロ・ユース対応 (専門特化)
出店形態	単独	NSC	単独またはNSC

Top Interview

最適な商品供給システムと在庫の適正管理に取り組み、
店舗オペレーションの機動化と経営効率を改善。

Q4 物流について、今期の具体的な施策としてはどういったことでしょうか？

A 現在の物流センターは、福島流通センター、上名倉流通センターの2箇所で開催しております。中期経営計画では、2007年度末には現在の物流センター

の処理能力が限界に近づいてまいります。今期中に第3の物流センター候補地の選定を終え、2007年度に建設する計画で進めており、出店エリアの拡大に合わせ、郡山市以南を候補地としております。

また、DB（ディストリビューション）部の機能強化を進め、店舗、お取引先、物流センターが一体となってジャスト・イン・タイムの最適な商品供給システムをさらに進化させるべく、季節変動による需要予測を週単位の的確なデータに基づく検証を重ね、販売機会ロスの削減と在庫適正化に向けて日々改善を図ってまいります。



Top Interview

販売力、商品力を強化して
地域シェアを一層拡大。

Q5 今後の課題とその取り組みはいかがでしょうか？

A 今期の重点取組として、MD（マーチャングイング）サービス課を新設して季節・時節商品企画の早期導入とプロモーション売場を標準化して全店に展開できる体制といたします。これにより、従来、店舗ごとにバラツキがあった季節・時節商品の売

場展開が、エリアごとにMDサービス課のスタッフがチーム編成されて統一した売場づくりを行うことにより、お客様にアピールしたチャンスロスのないタイムリーな売場展開が可能となるとともに、店舗作業の軽減を図ってまいります。

Top Interview

地域社会との共生を図り、豊かな暮らしに
役立つお店として一層の店舗展開を図ります。

Q6 株主の皆様へ、メッセージをお願いします。

A 今期は第31期の新たなステージに入り、「新創業元年 2010年に向けて新たな挑戦」をスローガンに「品揃え・価格・サービス」をより充実させ、お客様第一主義を実践し、地域のお客様の豊かな生活の実現に向けて企業努力を続けてまいります。

主力のホームセンター事業は、社会的インフラとして地域のお客様の暮らしを支える不可欠な存在となっております。今後も2010年ビジョン「売上高600億円、店舗数70店舗体制」の実現に向け積極的な事業展開を進めるとともに、より一層経営基盤を強固なものとしてまいります。

住まいと暮らしをより快適に便利にする良い商品を、より安くお届けすることで地域のお客様の暮らしを支え「地域になくてはならない店」として愛されることが、わが社の存在意義です。当社はこうした考えのもと、地域社会への活動にも参加し、積極的に取り組んでおります。

株主の皆様への還元策につきましては、より一層収益力を高め、配当性向等を勘案した上で、増配、株式分割に積極的に取組んでゆく方針でありますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

お

お客様へ感謝の気持ちを込めて 創業30周年記念感謝セールを実施

創業30周年を記念し、お客様への感謝の気持ちを込めて、「創業30周年記念感謝セール」を春と秋に実施すると共に、3月から12月にかけて「月間お買得ベスト30」を展開し、大好評を博しました。



新

規出店5店舗 山形エリアのドミナント化を推進

当期（第30期）は、山形県に、4月に酒田店（酒田市）、5月に山形花楸店（山形市）、9月には庄内余目店（庄内町）と3店舗を立て続けに出店し、山形エリアのドミナント化を一気に加速しました。

また、6月には当社がディベロッパーとなってショッピングセンター“エイトタウン川俣”（福島県川俣町）を開設すると共に、11月には石川店（福島県石川町）をショッピングセンター“メガステージ石川”内にオープンさせ、ホームセンターとスーパーマーケットの複合店舗による小商圏フォーマットの確立を推進いたしました。



D

B（ディストリビューション）部設立 在庫適性化によるキャッシュ・フローの改善

6月には、店舗への最適な商品供給システムづくりを目的としてDB部を設立し、全社をあげて在庫の適性化に取り組みました。その結果、既存店ベースでの在庫高は13.2%削減し、キャッシュ・フローを大幅に改善することができました。



↑

ペットカーニバルin福島開催 4日間で延べ15,000人が来場

11月には、中心市街地の活性化を目的とした地元新聞社主催による“ペットカーニバルin福島”が開催され、当社は特別協賛企業としてイベントの運営に協力いたしました。4日間での来場者数は15,000人を超え、多くの市民の皆様はペットとの触れ合いを楽しんでいただきました。



高

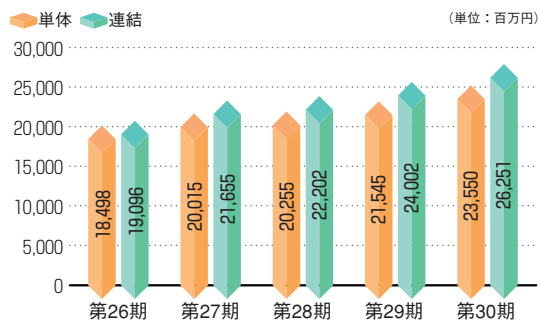
まるリフォーム需要に対応するため 子会社（株）ダイユーエイト・ホームサービスを設立

また9月には、昨今のリフォーム需要の拡大に対応するため、リフォーム専門会社の株式会社ダイユーエイト・ホームサービスを、当社100%出資の子会社として設立いたしました。現在(平成18年5月)は、福島黒岩店と福島八島田店のホームセンター2店舗内に事業所を併設して営業を行なっておりますが、今後、順次拡大していく計画であります。

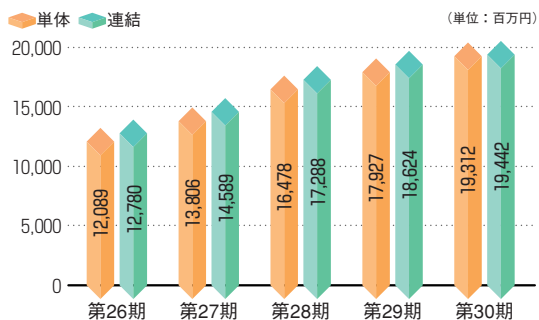


連結財務ハイライト

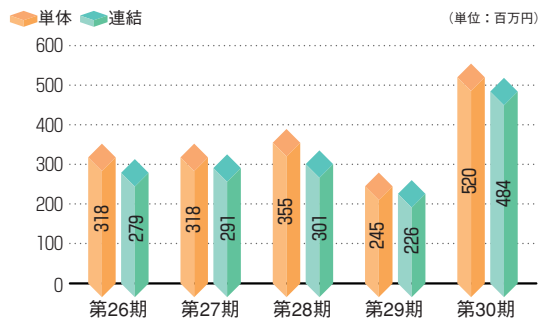
売上高



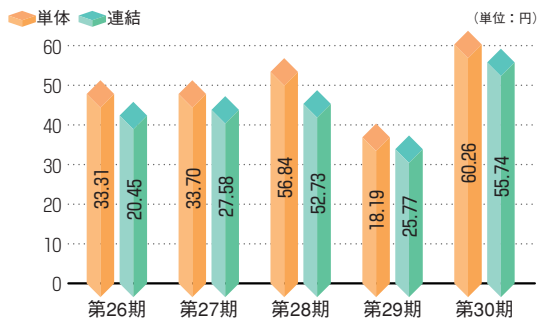
総資産



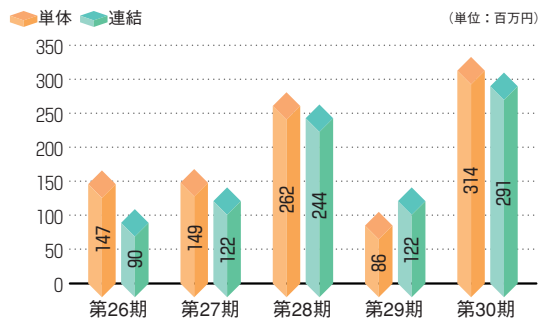
経常利益



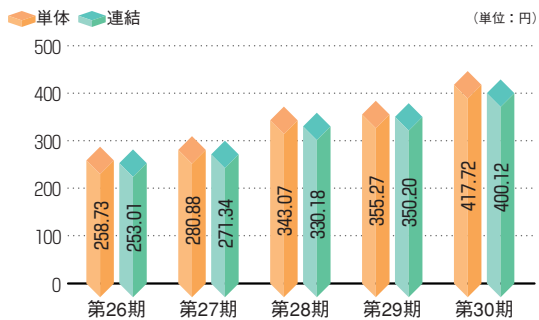
1株当たり当期純利益



当期純利益



1株当たり株主資本



連結グループの概況

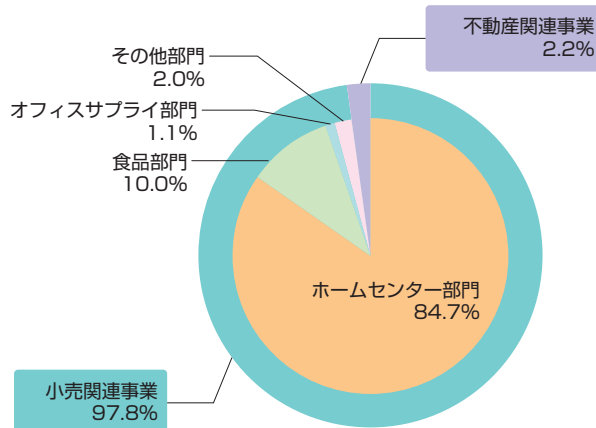
ホームセンター部門



ホームセンター ダイユーエイト

暮らしと住まいとDIY。地域に密着した豊富な品揃えとお買得価格で、お客様の快適な暮らしを応援しています。

■セグメント別売上高構成比



食品部門



スーパーマーケット 鮮一

新鮮な肉、魚、野菜の生鮮三品を中心に、お買得価格で、毎日の食卓を応援しています。

オフィスサプライ部門



オフィスエイト

「オフィスの経費節約」をテーマに、一般文具から事務用品、オフィス家具まで、オフィス需要のすべてに、お応えしています。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成18年2月20日現在)	前連結会計年度 (平成17年2月20日現在)
資 産 の 部		◀1
流動資産	6,035	6,293
現金及び預金	1,246	1,357
受取手形及び売掛金	101	131
たな卸資産	4,435	4,546
繰延税金資産	65	64
その他の	187	195
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	13,407	12,330
有形固定資産	9,926	8,984
建物及び構築物	7,613	6,762
土地	2,069	2,052
建設仮勘定	175	96
その他の	67	73
無形固定資産	990	815
借地権	926	746
その他の	63	69
投資その他の資産	2,491	2,530
投資有価証券	254	300
長期貸付金	10	11
敷金・保証金	1,383	1,363
繰延税金資産	45	45
その他の	802	816
貸倒引当金	△4	△5
資産合計	19,442	18,624

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成18年2月20日現在)	前連結会計年度 (平成17年2月20日現在)
負 債 の 部		◀2
流動負債	9,983	9,329
支払手形及び買掛金	4,194	4,579
短期借入金	2,302	1,737
1年以内返済予定長期借入金	1,569	2,022
1年以内償還予定社債	580	140
未払法人税等	199	39
その他の	1,137	811
固定負債	7,389	7,563
社債	1,260	1,460
新株予約権付社債	270	270
長期借入金	4,218	4,277
退職給付引当金	55	34
役員退職慰労引当金	94	93
その他の	1,491	1,427
負債合計	17,372	16,893
少数株主持分		
少数株主持分	—	—
資 本 の 部		◀3
資本金	492	448
資本剰余金	414	370
利益剰余金	1,141	908
その他有価証券評価差額金	21	3
資本合計	2,070	1,731
負債、少数株主持分及び資本合計	19,442	18,624

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	自 平成17年2月21日 至 平成18年2月20日	自 平成16年2月21日 至 平成17年2月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	737	953
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,125	△2,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214	1,660
現金及び現金同等物の増減(△)額	△603	△359
現金及び現金同等物の期首残高	825	1,185
現金及び現金同等物の期末残高	221	825

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結剰余金計算書

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	自 平成17年2月21日 至 平成18年2月20日	自 平成16年2月21日 至 平成17年2月20日
（資本剰余金の部）		
I 資本剰余金期首残高	370	321
II 資本剰余金増加高	44	48
1. 新株予約権の行使による新株の発行	44	3
2. 転換社債の転換	—	45
III 資本剰余金期末残高	414	370
（利益剰余金の部）		
I 利益剰余金期首残高	908	848
II 利益剰余金増加高	291	122
当期純利益	291	122
III 利益剰余金減少高	59	62
1. 配当金	59	56
2. 役員賞与	—	5
IV 利益剰余金期末残高	1,141	908

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

1 資産の部

総資産は、前連結会計年度に比べ8億1千8百万円増加し、194億4千2百万円となりました。

これは主に、新規開設店舗の投資による有形固定資産9億4千1百万円の増加した一方で、在庫適正化への取り組み等によりたな卸資産が1億1千万円減少したこと等によるものです。

2 負債の部

負債は、前連結会計年度に比べ4億7千9百万円増加し、173億7千2百万円となりました。

これは主に、長・短期5千2百万円の増加、社債及び新株予約権付社債2億4千万円の増加、未払法人税等1億6千万円の増加、設備支払手形が3億2千7百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が3億8千4百万円減少したこと等によるものです。

3 資本の部

株主資本は、前連結会計年度に比べ3億3千8百万円増加し、20億7千万円となりました。

これは主に、当期純利益2億9千1百万円等によるものです。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	自 平成17年2月21日 至 平成18年2月20日	自 平成16年2月21日 至 平成17年2月20日
売 上 高	26,251	24,002
売 上 原 価	19,477	17,792
売 上 総 利 益	6,774	6,209
販売費及び一般管理費	6,120	5,783
営 業 利 益	653	426
営 業 外 収 益	118	100
営 業 外 費 用	288	300
経 常 利 益	484	226
特 別 利 益	89	188
特 別 損 失	35	144
税金等調整前当期純利益	538	270
法人税、住民税及び事業税	258	152
法人税等調整額	△12	△4
当 期 純 利 益	291	122

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

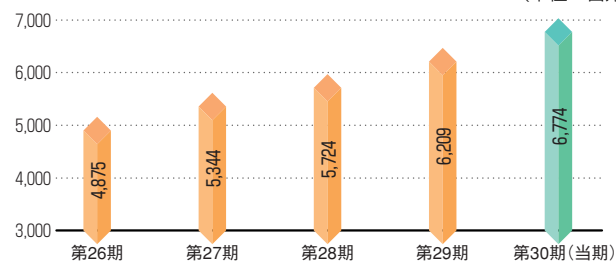
小売事業における部門別売上高の状況（連結）

（単位：百万円・%）

部 門	当連結会計年度		前連結会計年度		前 期 比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
ホームセンター部門	22,245	86.6	20,304	86.5	109.6
オフィスサプライ部門	293	1.1	306	1.3	95.8
食 品 部 門	2,630	10.3	2,387	10.2	110.2
そ の 他	520	2.0	478	2.0	109.0
合 計	25,691	100.0	23,477	100.0	109.4

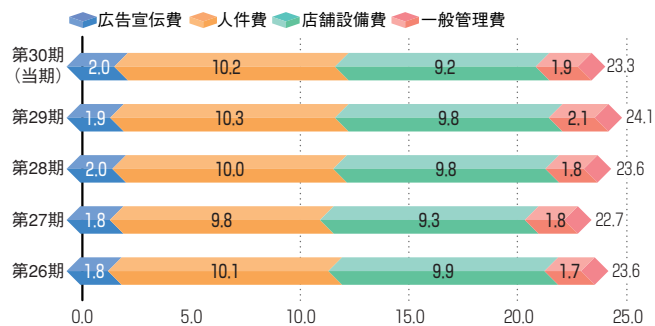
売上総利益の推移（連結）

（単位：百万円）



売上高対販管費率の推移（連結）

（単位：%）



単体財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当期	前期	増減金額
	(平成18年2月20日現在)	(平成17年2月20日現在)	
資産の部			
流動資産	5,899	6,270	△371
現金及び預金	1,177	1,309	△131
売掛金	110	176	△65
商品	4,285	4,405	△119
その他	328	382	△53
貸倒引当金	△1	△1	0
固定資産	13,412	11,657	1,755
有形固定資産	9,920	8,517	1,402
建物	6,876	5,909	966
土地	2,069	1,858	210
その他	974	749	225
無形固定資産	993	707	285
投資その他の資産	2,498	2,431	66
投資有価証券	254	300	△45
敷金・保証金	1,382	1,310	72
その他	860	820	40
資産合計	19,312	17,927	1,384
負債の部			
流動負債	9,753	9,061	692
支払手形	2,928	1,782	1,145
買掛金	1,068	2,502	△1,434
短期借入金	2,302	1,737	564
1年以内返済予定長期借入金	1,569	1,929	△360
1年以内償還予定社債	580	140	440
その他	1,305	968	337
固定負債	7,398	7,110	287
社債	1,260	1,460	△200
長期借入金	4,218	3,996	222
その他	1,919	1,654	265
負債合計	17,151	16,171	980
資本の部			
資本金	492	448	44
資本剰余金	414	370	44
利益剰余金	1,231	933	297
その他有価証券評価差額金	21	3	17
資本合計	2,160	1,756	404
負債及び資本合計	19,312	17,927	1,384

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当期	前期	増減金額
	自平成17年2月21日 至平成18年2月20日	自平成16年2月21日 至平成17年2月20日	
売上高	23,550	21,545	2,005
売上原価	17,341	15,866	1,475
売上総利益	6,208	5,679	529
販売費及び一般管理費	5,542	5,301	241
営業利益	666	377	288
営業外収益	136	150	△13
営業外費用	282	282	△0
経常利益	520	245	274
特別利益	89	188	△99
特別損失	51	209	△158
税引前当期純利益	558	224	333
法人税、住民税及び事業税	256	139	117
法人税等調整額	△12	△0	△12
当期純利益	314	86	228
前期繰越利益	17	21	△3
合併による未処分利益受入額	29	—	29
当期末処分利益	361	107	254

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

利益処分 (要旨)

(単位：百万円)

摘 要	当期	前期	増減金額
当期末処分利益	361	107	254
利益処分量			
利益配当金	77	59	17
役員賞与	13	—	13
任意積立金	200	30	170
次期繰越利益	71	17	53

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

株式の概況

■株式の状況 (平成18年2月20日現在)

1. 株式数

- (1) 発行する株式の総数 15,000,000 株
 (2) 発行済株式の総数 5,140,000 株

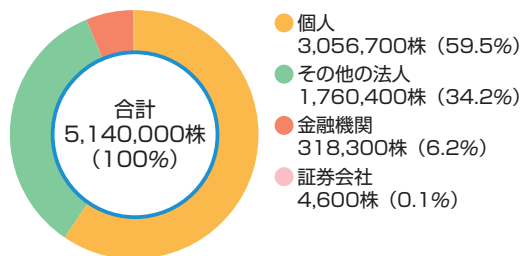
2. 株主総数

2,369名

3. 大株主

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 株 数	議 決 権 比 率
浅 倉 俊 一 有限会社ティーエイシー	702,800 株	13.67 %
ホームック株式会社	700,000	13.62
ダイユーエイト社員持株会	680,000	13.23
ダイユーエイト共栄会	303,100	5.90
佐 藤 友 美	269,200	5.24
浅 倉 俊 之	158,140	3.08
浅 倉 ト ヨ	140,420	2.73
浅 倉 ミ ヨ 子	120,000	2.33
浅 倉 寿 二	75,000	1.46
	68,000	1.32

4. 所有者別分布状況



会社の概況

■会社の概要 (平成18年2月20日現在)

- 商 号：株式会社 ダイユーエイト
- 設 立：昭和51年4月
- 資 本 金：492,902,000円
- 従業員数：〔単体〕正社員 272名
パートタイマー 516名（1日8時間換算）
〔連結〕正社員 314名
パートタイマー 597名（1日8時間換算）
- 本 社：福島県福島市太平寺字堰ノ上58番地
- 事業内容：流通小売業
〔ホームセンター、オフィスサプライの経営〕
- 上場取引所：JASDAQ
- 連結子会社：株式会社エイトフーズ
株式会社ダイユーエイト・ホームサービス
有限会社エイト薬品



■役員 (平成18年5月17日現在)

代表取締役社長	浅 倉 俊 一
取締役副社長 (業務改革推進担当)	仙 波 善 昭
専務取締役 (経営企画室長)	三 瓶 善 明
専務取締役 (営業統括部長)	阿 部 和 博
専務取締役 (店舗開発部長)	熊 田 康 夫
専務取締役 (商品部長)	柳 沼 康 広
取締役 (管理統括部長兼財務部長)	石 黒 隆 光
取締役	宮 本 直 光
常勤監査役	四 家 直 英
監査役	宗 形 守 敏
監査役	寺 島 由 浩

店舗一覽 (平成18年5月17日現在)


店名	住 所	☎
本部・流通センター		
本部	960-8151 福島市太平寺字堰ノ上58	024-545-2215
福島流通センター	960-8151 福島市太平寺字堰ノ上59	024-545-7151
上名倉流通センター	960-2156 福島市荒井字上川原田1-2	024-594-1551
■ホームセンターダイユーエイト		
□福島県 31店舗		
福島黒岩店	EX 960-8153 福島市黒岩字浅井77-1	024-544-1303
福島鎌田店	960-0102 福島市鎌田字鏡田3-1	024-552-3088
福島八島田店	960-8056 福島市八島田字勝口75	024-558-2551
福島上名倉店	D 960-2155 福島市上名倉字鞋内25	024-594-2591
福島飯坂店	D 960-0261 福島市飯坂町字梅津7-1	024-541-2722
二本松店	EX 964-0937 二本松市榎戸2丁目36	0243-62-2741
保原店	960-0686 伊達市保原町字竹内町71	024-574-2635
梁川店 (平成18年5月24日オープン予定)	960-0713 伊達市梁川1町字八筋79	024-527-2420
桑折店	969-1643 伊達郡桑折町合地字石近48-1	024-581-2917
川俣店	960-1406 伊達郡川俣町大字鶴沢字社前18	024-538-0071
本宮店	969-1104 安達郡本宮町荒井字久保田132-10-1	0243-63-5581
郡山安積店	963-0111 郡山市安積町荒井字北千保6	024-937-4558
三春街道店	D 963-0911 郡山市西田町大田字河原58-1	024-981-1023
須賀川西店	EX 962-0032 須賀川市大袋164	0248-63-2015
須賀川北店	962-0052 須賀川市大字西川字池ノ上51-21	0248-63-8655
船引店	963-4312 田村市船引町船引字小沢川代88	0247-81-1072
石川店	963-7846 石川郡石川町字長久保63	0247-56-3115
浅川店	963-6204 石川郡浅川町浅川字月斎31-1	0247-38-1940
小野店	963-3521 田村郡小野町大字飯豊字五反田48	0247-71-1033
矢吹店	969-0201 西白河郡矢吹町字大町60-3	0248-41-1066
会津若松店	D 965-0041 会津若松市駅前町1-30	0242-37-7880
西若松店	965-0846 会津若松市門田町大字飯寺字村西649-1	0242-28-3277
塩川店	969-3501 喜多方市塩川町小府根曾谷田1	0241-28-0288
会津坂下店	969-6551 河沼郡会津坂下町字籠ノ下70	0242-84-1043
いわき城東店	970-8026 いわき市平字城東3丁目1-4	0246-37-7121
いわき好間店	970-1152 いわき市好間町中好間字下川原30	0246-36-3111
四倉店	979-0202 いわき市四倉町上仁田字雁又46	0246-32-8511
原町店	975-0025 南相馬市原町区大字下高平堂後161-1	0244-25-3220
鹿島店	D 979-2335 南相馬市鹿島区鹿島字北田81	0244-67-1250
小高店	D 979-2103 南相馬市小高区大井字深町21	0244-66-1308
富岡店	979-1151 双葉郡富岡町大字本岡字新夜の森561	0240-21-0188
□宮城県 2店舗		
白石店	989-0232 白石市福岡長袋字高畑11	0224-22-1821
大河原店	989-1246 柴田郡大河原町字新東94-1	0224-52-0282
□山形県 7店舗		
山形花橋店	990-0067 山形市花橋二丁目18-62	023-625-8870
南陽店	999-2261 南陽市蒲生田字清水上1470-1	0238-59-0140
村山店	995-0033 村山市榑岡新町3丁目30-8	0237-55-6115
酒田店	998-0828 酒田市あきほ町120-1	0234-22-6188
高島店	992-0351 東置賜郡高島町大字高島字川辺1558	0238-51-0035
河北店	999-3511 西村山郡河北町谷地ひな市通り東26街区24	0237-73-5330
庄内余目店	999-7781 東田川郡庄内町余目字滑石64-1	0234-42-1801
□新潟県 1店舗		
新潟中条店	959-2643 胎内市東本町2592	0254-44-0710
■オフィスエイト		
南福島店	960-8153 福島市黒岩字中島27-1	024-544-2415
富久山店	963-8051 郡山市富久山町八山田字大森新田36-1	024-923-8810
■スーパーマーケット 鮮一		
須賀川店	962-0032 須賀川市大袋164	0248-63-7670
船引店	963-4312 田村市船引町船引字小沢川代88	0247-81-2102
原町店	975-0025 南相馬市原町区大字下高平字堂後161-1	0244-25-3240
鹿島店	979-2335 南相馬市鹿島区鹿島字北田81	0244-67-1260
小高店	979-2103 南相馬市小高区大井字深町21	0244-66-1307
■ショッピング・センター		
エイトタウン本宮	969-1104 安達郡本宮町荒井字久保田132-10-1	0243-63-5581
エイトタウン鎌田	960-0102 福島市鎌田字鏡田3-1	024-552-3088
エイトタウン川俣	960-1406 伊達郡川俣町大字鶴沢字社前18	024-538-0071
■ダイユーエイト・ホームサービス		
福島黒岩営業所	960-8153 福島市黒岩字浅井77-1	024-544-1347
福島八島田営業所	960-8056 福島市八島田字琵琶湖2	024-555-2291

EX エクステリア・センター併設店舗

D ドラッグストア併設店舗

■株主優待制度

毎年2月20日現在の株主（実質株主を含む）に対し、年1回、以下の基準により贈呈しております。

(1) 贈呈基準	①福島県内在住の株主 所有株式数 自社商品券 100株以上 1,000円（1枚1,000円の自社商品券1枚） 500株以上 3,000円（1枚1,000円の自社商品券3枚） 1,000株以上 5,000円（1枚1,000円の自社商品券5枚） 3,000株以上 10,000円（1枚1,000円の自社商品券10枚）	
	②福島県外在住の株主 所有株式数 地元特産品 100株以上 1,000円相当の地元特産品 500株以上 2,000円相当の地元特産品 1,000株以上 3,000円相当の地元特産品 3,000株以上 5,000円相当の地元特産品	
(2) 商品券のご利用基準	①この商品券は、ダイユーエイトグループ（ホームセンターダイユーエイト、オフィスエイト、鮮一）の各店でご利用いただけます。 ②この商品券と引換えに、当店の商品をお渡し申し上げます。 ③この商品券は、現金とお引換えいたしません。ご利用金額が1,000円未満の場合、金銭の返却はご容赦ください。 ④盗難や紛失された場合の再発行はいたしかねます。 ⑤次の商品・サービスは、対象外とさせていただきます。 1) テナント業者および催事者が取り扱う商品 2) 宝くじ券の購入 3) 商品の配送料・修理代 ⑥有効期限は、翌年5月末日まで	

■株主メモ

- 決算期：2月20日
- 定時株主総会：5月
- 1単元の株式数：100株
- 配当金受領株主確定日：期末配当 2月20日
中間配当 8月20日
- 株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内1丁目4番2号（東銀ビル）
東京証券代行株式会社
- 事務取扱場所：〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番2号（東銀ビル3階）
【お問い合わせ先】 ☎ 0120-49-7009
☎ 03-3212-4611（代表）
- 同取次所：東京証券代行株式会社各取次所（※）
（※）当社の株式に関する事務につきましては、中央三井信託銀行の本店および全国各支店において取次事務を行っております。
- 公告方法：電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

- 株券喪失登録：株券を紛失された方は、上記株主名簿管理人において株券喪失の手続きを行うことができます。株券喪失登録を行いますと、株券喪失登録簿に喪失株券の記号番号等が登録されて閲覧に供され、1年間喪失登録の抹消がなければ、当該株券は失効し、新しい株券の交付を受けることができます。株券喪失登録に要する費用は、10,000円に加えて喪失登録株券1株につき500円です。

＜諸届用紙のご請求＞

住所変更・改印等の変更届、配当金振込指定書、株式名義書換請求書等の諸届出に使用いたします用紙のご請求につきましては次の方法もご利用いただけます（24時間、土・日祝祭日もお受けいたします）。

【電話を利用した自動音声応答による受付】

☎ 0120-16-5805

【インターネットによる用紙のご請求】

東京証券代行株式会社のホームページにおいて、用紙の印刷およびインターネットメールによる用紙のご請求がご利用になります。

<http://www.tosyodai.co.jp>

「株式に関する用紙のご請求」、「株式に関する手続きのご案内」、「株式に関する手続きのQ&A」をご参照下さい。

株式会社 ダイユーエイト

〒960-8151 福島県福島市太平寺堰ノ上58
 TEL：024-545-2215 FAX：024-545-2495
<http://www.daiyu8.co.jp>

今後の見通しに関する注意事項

本誌の記載内容のうち、当社の将来に関する見通し及び計画などの歴史的事実でないものについては将来予測であり、現在入手可能な情報から得られた会社の判断に基づいています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。